

# さやまのふるさと

## 狭山の夏の風物詩

市内では、夏の風物詩「入間川の七夕まつり」が広く知られていますが、入間川沿いではあと二か所、珍しいお祭りが行われています。

入間川左岸の上広瀬、富士浅間宮の「広瀬の火まつり」は、8月21日に行われ、地元の人々は「スイカマチ」と呼んでいます。富士山をまねて作られた



富士浅間宮は、安産・子育ての神さまとして信



仰され、六根清浄を唱える富士講の人たちが大・小のたいまつに火をつけますと、祭りは最高潮となり、近郷近在の老若男女で夜遅くまでにぎわいます。そのとき、スイカ売りが出ました。

一方、入間川右岸にある入間川四丁目、諏訪神社では、8月26日に「なすとつかえ」という祭りが行われます。昔、神社の裏の沼から竜が出てきて、夏の病に苦しんで暴れていたそうです。ところが、あるとき、畑で取れたナスが竜の口に入ったとたん、おとなしくなったことから、夏の病にはナスが効くということがわかりました。それからは、諏訪神社の祭りには必ずナスが供えられ、そのうちいくつかを神社からいただき、夏の病から身を守るという神事が行われるようになったそうです。

## 市民の作品展

# 俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

太陽が這い出してくる麦の秋 前田美智子

でで虫の家を背負ひし不思議かな 香川 妙

石堀の途中晴れたるかたつむり 中内伊美子

信号を待つ間に仰ぐ栗の花 高橋美登里

岩くぐる水のひびきや夏木立 小柴佐知子

思ひきり甘える幼なもつれ蝶 中野 湖月

## 編集後記



例年より長い梅雨が終わりを告げ、暑い夏がやってきました。市では夏休みならではの楽しい催しをたくさん開催します。ぜひご家族やお友だちとお出かけください。

さて、夏の到来とともにやってくのが、台風や大雨です。今年もすでに、九州地方などは記録的な豪雨で、大きな被害が発生しました。災害時に重要なのは、防災への意識です。市では、災害に備えて、毎年防災訓練を行っています。防災訓練は地震を想定していますが、この機会に訓練に参加して、防災への意識を高めましょう。

## 分かるかな？

### 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。締切り8月31日(木・当日消印有効)

## 7月号の答え

13ページ・ひとまち写真館の「博物館の企画展」の写真でした。



## 👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)	8月1日現在。( )内は前月比		
	住民基本台帳人口	外国人登録人口	
男	80,048人(+19人)	917人(+9人)	
女	77,636人(-19人)	1,163人(+15人)	
合計	157,684人(±0人)	2,080人(+24人)	
世帯	62,535世帯(+76世帯)	1,524世帯(+28世帯)	

7月の火災・救急件数(消防本部)  
火災件数 2件(建物1件、その他1件)  
救急出動件数 463件(搬送人員446人)



公式モバイルサイトのQRコード  
QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトに簡単にアクセスできます